

魔鑑—Psychology 18のQ

あなたは、世界一美しい国の王妃です。愛する人々と共に、平和に暮らしています。美しい国は食べ物の実りが良く、食料には不自由することがありません。寒さに強いペンギンさん、暑さに強いヤモリさんなど、たくさんの動物たちも、個性は違えどもお互いを思いやりながら仲良く暮らしていました。

ところが、ここ数年は人々の「心」の乱れが原因なのか、気候がおかしくなっています。夏は猛烈に暑く、冬は空気さえ凍るぐらいの寒さで、みんなとても苦しそうにしています。幸いなことに、命に及ぶことは無いようですが、ヤモリさんでも耐えられない暑さ、ペンギンさんでも耐えられない寒さになって来た為、動物たちはストレスを溜め込み、心の病になりかけています。あなた自身も暑さと寒さで、神経がまいりかけています。

ある日、あなたの執事が、最近の街の噂を教えてくださいました。「夏は涼しい風が吹き、冬にはあたたかな土(地面)から良い香りが漂う、素晴らしい自然環境の国があるとの話題で街は持ちきりです」と。ただ、自然は素晴らしいが「食べ物」が少ないので、いつも飢えている国らしいことも耳に入ってきました。又、真実は定かで無いのですが、外部からの侵入者を容赦なく攻め立てるらしいことも、人々の間で語られているようです。

以下A～Rの質問をご覧ください。あなた＝王妃です。

■詳細が必要な質問、B、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、については、詳細と画像が記載されたPDFをご用意していますので、そちらもご覧ください。

◆質問A

あなたには可愛い子供が3人います。

第一子:長女

第二子:長男

第三子:次女

それぞれの子供たちの年齢を教えてください。

◆質問B

あなたが日に日にやつれていくのを見て、3人の子供たちがあなたへ花や植物を、一人につき3種類ずつ摘んで来ました。どの子がどれを摘んで来ましたか？

◆質問C

あまりの暑さと寒さに、動物たちもあなたも、既に限界に来ています。

民衆たちも同じように苦しんでいます。あなたはどんな策を講じますか？

◆質問D

あなたの美しさに嫉妬した、「世界一意地悪な魔女」があなたの国と大切な人々を滅ぼそうと攻めて来ました。最愛の人があなたを必死で守ろうとしています。あなたが最愛の人に「お守り」として、身につけてもらう石を1つ選んでください。

●誕生祝いのクリスタルジュエリー製作●

異常なお天気も落ち着き、国同士の争いも無くなりました。もうすぐあなたの誕生日です。国一番の宝飾職人が、誕生祝いのジュエリー製作の面会に来ました。遥かな昔より、王妃が身につけるジュエリーは「水晶」で作ることが決まっています。職人は開口一番、「どんな印と形をお望みですか？1つだけ組み合わせでお選びください。選ばれる印と形によって、この国の未来が決まるかもしれません……」と。

◆質問E

どんな形(マーク)と印(リング、ネックレスなど)を選びますか？
選んだ理由も書いてください。

●王妃の誕生祝い晩餐会●

今夜、あなたのバースデーを祝う晩餐会が催されます。夫と家族、執事、など、親しい者だけで行われる晩餐会には、あなたを含め、いつもの11名が座るテーブルが用意されています。

晩餐会を準備するメイド(手伝い)の女性があなたの部屋の前にやってきました。彼女は、「王妃様、申し訳ありませんが、ドアを開けてくださいますようお願いです。両手がふさがっていて開けることが出来ませんので。」と伝えています。親切で心優しいあなたは、あわてて、ドレスの裾“を引っ掛けそうになりながらも、ドアを開けてあげました。

ドアを開けると、メイドがキャンドルをたくさん乗せた大きなお盆を両手で抱えていました。メイドの若さに溢れた魅力的な体臭と、子供たちが摘んで来てくれた、部屋のお花が交じり合い、なんとも言えない美しい香りが充満しています。彼女はあなたより10歳ほど若く、性的魅力にも溢れていました。メイドが額の汗をぬぐい、すぐさまあなたに語りかけました。

「今夜の晩餐会の席とキャンドル色を、王妃様にお決めくださるよう言いつかりました。」
「今回は、どなたが、どのテーブルに座るのかも決まっておられません。」
「席位置と、テーブルに灯すキャンドルの色とを、至急お決めくださるようお願いします。」
「決まりましたら、私にお申し付けください。すぐにお伺いに参ります」……と。

「キャンドルの色？席位置？何故？」と、思う間もなく、メイドは去っていきました。
今までにも、誕生祝の晩餐会はあったのですが、キャンドルの色を王妃自らが選ぶことなど、一度も無かったからです。又、座る席が決まっていないことも不思議に感じながら、あなたは、ぼんやりと部屋の天井を見つめています・・・
天井を見つめていると、ふと、祖母が亡くなる数日前に言った言葉が脳裏をよぎりました。

「いいかい、キャンドルの色を選ぶ日が来れば、お前の人生の全てを賭けるように、慎重にそして、大胆に選ぶのだよ。それがお前にとっての初めての勝負“になるだろうから”と。

祖母は何故・・・そんな言葉を。

と思いながらも、気になるのはドアを開けに来た「メイド」の存在です。

なんとも言えない、愛着と胸騒ぎが交錯する、不思議な感情が湧き上がり始めています。しかし、考えている間などありません、あと20分で晩餐会が始まるのです。

◆質問F

あなた以外の各人を、それぞれの席1～10に座らせてください。

どの席に、どの色のキャンドルを配置するのもかを選んでください。

席は、11席。

キャンドルの色も11色。各テーブルに、キャンドルが2本(同色)ずつ灯されます。

※ あなたは、キャンドル色は選べますが、席を選べません。

10名を選んだ後の、「残り1席」2列目真ん中があなたの席となります。

◆質問G

晩餐会のテーブルナプキンには、刺繍が施されています。

11名、それぞれが使うナプキンの「柄」を選んでください。

◆質問H

晩餐会に参加の成人男性4名が着ている服の胸には動物シンボルの勲章が付いています。

4名それぞれの、勲章シンボルを選んでください。例)王ーハヤブサ、祖父ーヘビ

◆質問I

最初にスープが運ばれて来ました。

11名、それぞれが使うスープ皿の「模様」を選んでください。

◆質問J

今夜のメインディッシュが運ばれてきました。

11名、それぞれが使うナイフの「彫刻模様」を選んでください。

●晩餐会のデザート●

メイン料理も終わり、あなただけ“に、豪華なデザートが運ばれてきました。

「今日は、格別の素材を集めてきました！！」と、料理長がお皿を片手に呼びかけます。テーブルの前には、デザートが、所狭しと並んでいます。いつもより、はるかに豪華で、おいしそうなメニューを前に、あなたはとろけてしまいそうです。幸せ一杯の気分で、デザートに手をつけようとしたその瞬間！またもや、祖母の声天井の方から聞こえてきました。

今度はすごい声と言葉なのです。「毒に気をつけろ！」と。

どうやら…席とキャンドルの謎が、おぼろげながら解けてきたようです。

これは罠！！と、直感が背筋を走り抜けました。この中にもしや…「毒」。

あなたは、恐怖で全身に凍りつきそうな寒気を感じ始めています。

スプーンさえ置くことさえ許されれば……。しかし…置くわけにはいかないのです。

どんなに気分が悪くなくても、体調が悪くなくてもデザートだけは食べなければ！

「王妃が誕生晩餐会で11種以上のデザートを口にしなければ、11名の敵と共にその国は必ず貧困にあえぎ、遂には滅び去る」という、箴言(しんげん)があり、事実、周りの国々もそれが原因で衰退していった、厳然とした歴史があるからです。

あなたの額に汗がにじみ始めました……。人生最大のピンチです。

その時、「どうぞ、お使いください」あの魅力的なメイドがハンカチを差し出しました。

身を這いずる…なんとも言えない、屈辱感と無力感…。

と、その時！幼いころ、森の中で学んだ、祖母の言葉が頭をよぎり始めました！

「おまえ……知っているかい。毒も薬に変わることを」

「動物たちはみんな、そうやって、命をつないでいるんだよ」と。

食べ物を食べる際、順序と量とをうまく組み合わせることにより、「毒を封じ込める」ことが出来るのです！しかし、どれが「薬」になるのか見当さえもつきません。

どの組み合わせと食べる手順が、毒を薬に変えるのか…。

それに、見たことも聞いたことも無い食べ物もたくさんあるようです。

◆質問K

さあ！あなたはどれを食べますか？11種以上を慎重に、大胆に食べてください！

食べる順番も慎重に選ぶのですよ！

～これは夢…？王妃でない普段のあなたに戻っています～

◆質問L

「なんとなく似ている」と感じるものがいましたら、教えてください

◆質問M

どの蛇を美しいと感じますか？

◆質問N

中央の女性とドラゴンとの関係は？

◆質問O

あなたは、一生「ひとりぼっち」で暮らしていくとします。

あなた以外に「人」はおらず、周囲の景色は全く変化しないとします。

暮らすとすれば、どの景色(環境)を選びますか？1つだけ選んでください。

◆質問P

美しい環境に囲まれ、あなたは暮らしていけるとします。

あなたはどの環境で暮らしたいですか？また、その理由を教えてください。

◆質問Q

一番、恐怖や不気味さを感じるものを1つ選んでください

◆質問R

最後に生年月日(必須)を教えてください。